



6月定例上尾市議会報告！

平成29年6月上尾市議会は慎重審議がなされ、6/22閉会しました。

上尾市議会平成29年6月定例会は6月2日に開会、21日間にわたり慎重審議がなされ、6/22閉会しました。平成29年度補正予算(6955万6千円)を含む市長提出議案10件、諮問2件、請願3件の審議が行われ、市長提出議案10件が可決、諮問2件は意義なき旨答申、請願3件は否決となりました。

市政に対する一般質問は、19名が登壇、市政に対して提案・質問を行いました。

可決された主な事業

1. 防犯対策強化

つくし学園に防犯カメラ設置！

園内3か所に設置

保育所に防犯カメラ設置！

全15市立保育所・民間保育所12園に設置



2. 自主防災組織育成

災害時用資機材として

トランシーバーを117自主防災会に設置



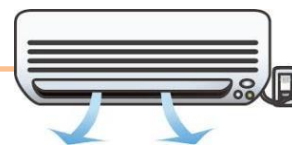
3. 保健センター改修

利便性向上・バリアフリー化・トイレ改修のため、西保健センターを改修



4. 総合福祉センター工事

空調設備故障のため、改修工事を実施



5. 国民健康保険税の所得基準緩和

＜保険税軽減の拡充について＞

平成29年度から保険税軽減（5割・2割）の範囲が拡充（138世帯）されます。

軽減判定基準	平成28年度	平成29年度
7割	33万円以下	33万円以下(変更なし)
5割	33万円+（26.5万円×（被保険者数+特定同一世帯所属者数））	33万円+（27万円×（被保険者数+特定同一世帯所属者数））
2割	33万円+（48万円×（被保険者数+特定同一世帯所属者数））	33万円+（49万円×（被保険者数+特定同一世帯所属者数））



学用品費等の保護者負担軽減について

Q 12月定例会の一般質問において、教材費の負担軽減に向け学校での工夫を要望したがその後、教材費削減につながるような事例はあったか？

A 各学校では、教材の購入に当たり、より安価な教材を選定したり、ワークブックの購入を止め教員が自ら問題を作成したりなどしている。また、セット材ではなく、原材料を購入するなどの工夫をしている学校もある。

Q 現在就学援助が必要な児童生徒への入学準備費支給が入学後の8月となっている。就学援助費前倒し支給について、本年3月の衆議院の就学援助費の考え方を受け、本市も入学前の支給を求めるが、市の見解は

A 健やかに育つことができるまちづくりに寄与できる魅力ある施策の一つとして、平成30年度入学予定者への実施について対応していく。

(7/9付 公明新聞に掲載されました)



手話言語条例制定に向けて

Q 聴覚障害者協会・手話通訳問題研究会との懇談会では、どのような要望が上がっているか。また、要望に対し、進展したものはあるか。

A 手話通訳者派遣や災害時対応及び手話言語条例等の要望があがっている。このうち派遣事業を充実させるため、社会福祉協議会に設置している手話通訳派遣事務所の専任通訳者を1名増員した。

Q 子どものときからの聴覚障害者の方とのかかわりは児童生徒たちへの手話に対する認識を、急速に浸透させるものであると考える。学校教育の中において、手話に対する認識をどのように広めているか。

A 小学校12校、中学校1校において手話の学習について、総合的な学習の時間などでボランティア、福祉教育の一環として行っている。具体的には、聴覚障害の方を講師として招き、講義や体験的な学習を実施したり、音楽の授業や音楽的活動の際に、歌詞に合わせて手話を取り入れながら歌う学習に取り組んだりしている。また、図書やインターネットなどを活用して調べ学習を行う学校もある。

Q 市の広報に手話コーナーを掲載していくことで大きく認識が広がると考えるが、市の見解は。

A 手話に関する理解を深め、これを普及することは、全市民がともに生きる地域社会の実現につながる。広報誌への記事の掲載については大変有効であると考え、担当部署と協議していく。



産前産後支援の今後の課題



- Q** 産後、10人に1人はホルモンバランスの乱れや慣れない育児疲れなどから、母親が精神不安になる産後うつになっていると言われている。市で行っている新生児・産婦訪問指導やこんには赤ちゃん事業において訪問の際に、産後うつの症状が見られる事例はあったか。
- A** 産後うつとして把握している事例は、平成28年度は5件あった。
- Q** 産後うつに対する支援は、自殺者を減らすのみならず、産後うつの影響による子どもへの虐待のリスクも減らすためにも重要な事業である。出産後の母子が健やかに生活できるよう、産後うつ病の早期発見のための質問票の活用、さらに経済的な負担を気にすることなく、専門の医療機関で診断してもらえる産婦健診の公費助成を強く求めるが市としての見解は？
- A** 産後うつとは診断されないまでも、精神的に不安定になりやすい母親も少なからず見受けられる。今後も引き続き産科医療機関等の連携強化を図り、産後の母親のメンタルヘルスにおいて、よりよい支援ができるよう努める。

防災に女性視点の活用を



- Q** 避難所における性的被害が多数発生していると聞く。被害防止対策や万が一被害のあった方への対応はどのようなになっているか。
- A** 女性に対するセクシャルハラスメントや性犯罪を予防するため、更衣室、トイレの設置場所に配慮し、注意喚起に努め、性暴力や性犯罪の相談、防止対策、被害が生じた場合の相談支援体制を設ける。
- Q** 上尾市防災会議における女性委員は0人である。防災に女性の視点を取り入れるため女性委員の登用に力を入れていただきたい。
- A** 女性委員の比率が高い自治体の取り組みを参考にし、女性委員の登用について検討していきたいと考えております。
- Q** 多くの市町村で女性視点の防災ノートが作成されている。女性防災ノート作成に対する市の見解はいかがか。
- A** 災害時のとるべき行動のほか、ふだんから災害に対する備えを啓発していく上でも有効な方策と考えられることから、関係部署と連携して、先進事例を参考に調査研究していきたい。

総務常任委員会にて



委員会に付託された『「組織的犯罪処罰法の改正案(共謀罪)」の採決見送りを求める意見書の提出を求める請願』に対し、請願内容が事実と異なっていたため反対討論をしました。

みなさんの声がかたちに！



交通安全を補佐します

※カーブミラーだけに頼るのも事故の元。
最終的には目視が基本です。お互いに安全運転で～



大石南中そばのファミリー
マート裏のカーブの道



県道さいたま鴻巣線沿い
上尾市平方4220付近



上尾道路から住宅街を
抜ける小敷谷629付近



小敷谷白ばら学園付近

通学路の安全確保です！



上尾道路開通に伴って、平方北小学校の通学路が一部変更になりました。PTAの保護者の方々からの要望と地域の方のご協力により、歩道が安全に確保されました。



とのべのひとこと

今年の夏は酷暑となるようです。私の住む地域では月一回土曜野菜市が開催されています。上尾市の農家の方々が届けてくださるとれたてのお野菜！新鮮でとってもおいしいですよ♪
体に良いものを取り入れてお互いに体調管理気を付けていきたいですね。

